

I 調査の概要

1. 調査の方法と内容

各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校担当部署に、所管する高等学校の海外修学旅行並びに修学旅行以外の海外研修の実施状況等について調査を依頼し、以下のとおりまとめた。

なお、東京都・福岡県の私立及び兵庫県の公私立の実施状況については本協会の独自調査によった。愛知県の私立学校に関しては、愛知県私立中学高等学校協会の協力を得た。

- (1) 調査の期日 平成30(2018)年5月1日現在
- (2) 調査対象 各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校所管部署
- (3) 調査内容
 - イ. 平成29(2017)年度海外修学旅行の実施校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、訪問国
 - ロ. 平成29(2017)年度海外研修の実施校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、研修先国、研修内容
 - ハ. 平成29(2017)年度国内航空機利用修学旅行の実施状況
 - ニ. 平成29(2017)年度国内修学旅行方面別実施状況
 - ホ. 平成29(2017)年度訪日教育旅行受入状況
 - ヘ. 平成30(2018)年度修学旅行の実施基準

2. 集計及び区分け等

- データは各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各道府県私立学校所管部署からのデータを集計し、一部本協会の調査データを加えた。
- 海外修学旅行・海外研修とも都道府県の実施校数・参加生徒数は出国数をベースとし、クラス別・班別及び課程別での実施を件数表示とした。また複数方面にまたがる場合、国別集計では延べ数でカウントした。
- 訪問国は、旅行という観点から大陸区分によったが、グアム・サイパン島は北アメリカに、パラオ・マーシャル諸島はオセアニアに区分した。
- 海外研修は学校が主催する3ヶ月未満の語学研修、ホームステイ、教科の特性を生かした実習・研修、姉妹校交流等をまとめ、研修内容の区分は本協会独自の仕訳によった。
- 国内方面別実施状況は、クラス別・班別及び課程別での実施や複数方面にまたがる場合も1校として集計のため、設置校数・生徒数と一致しない。
中学校は県によってデータ把握が困難なため、参考数値として集計した。
- 訪日教育旅行受入状況については、一部地域を除き、各都道府県教育委員会で把握されているものを掲載した。

3. 平成29(2017)年度全国高等学校の概要

- 学校数は4,907校(本校4,820校、分校87校)で、前年度より18校減少(本校19減、分校1増)している。
 - ・ 公立の学校数は3,571校で、前年度より18校減少(本校19減、分校1増)している。
 - ・ 国立の学校数は15校で、前年度と同数である。
 - ・ 私立の学校数は1,321校で、前年度と同数である。
 生徒数は約328万人で前年度より約2万9千人減少している。(中等教育学校を含むと約331万3千人)
- 中等教育学校数は53校(国立4校、公立31校、私立18校)で、前年度より私立校が1校増加している。
- 修学旅行対象学年(全日制2年, 定時制3年, 専科, 別科, 中等教育後期課程)の生徒数は、約109万5千人で前年度より約4千人減少している。

(資料：平成29年度文部科学省学校基本調査)

II 調査結果の概要

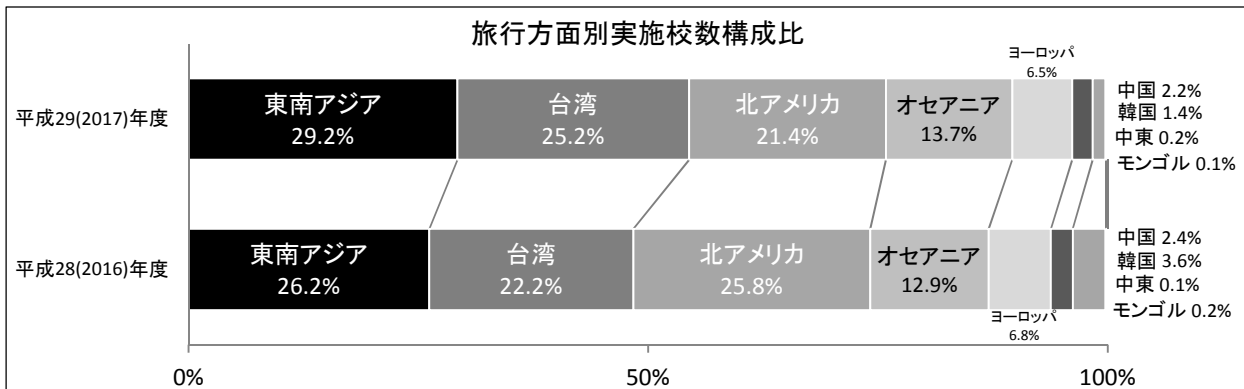
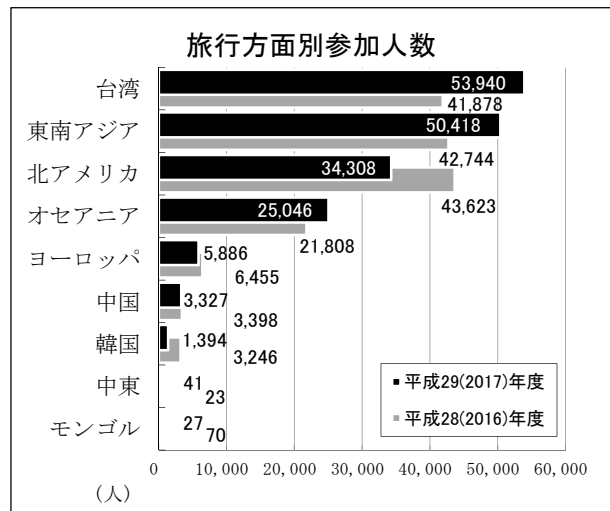
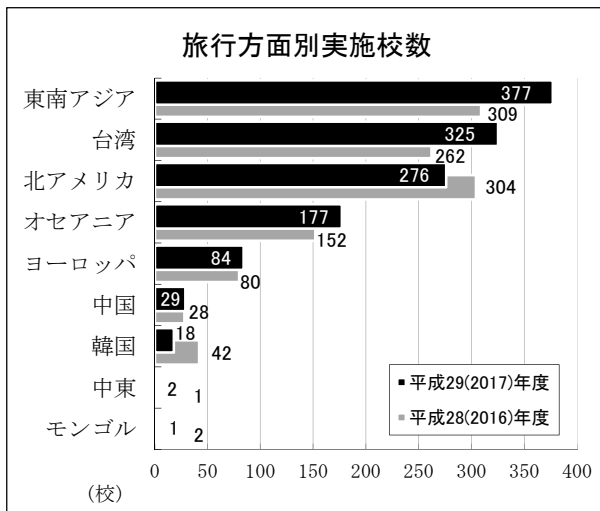
1. 平成29（2017）年度 海外修学旅行の実施状況

(1) 全国の動向

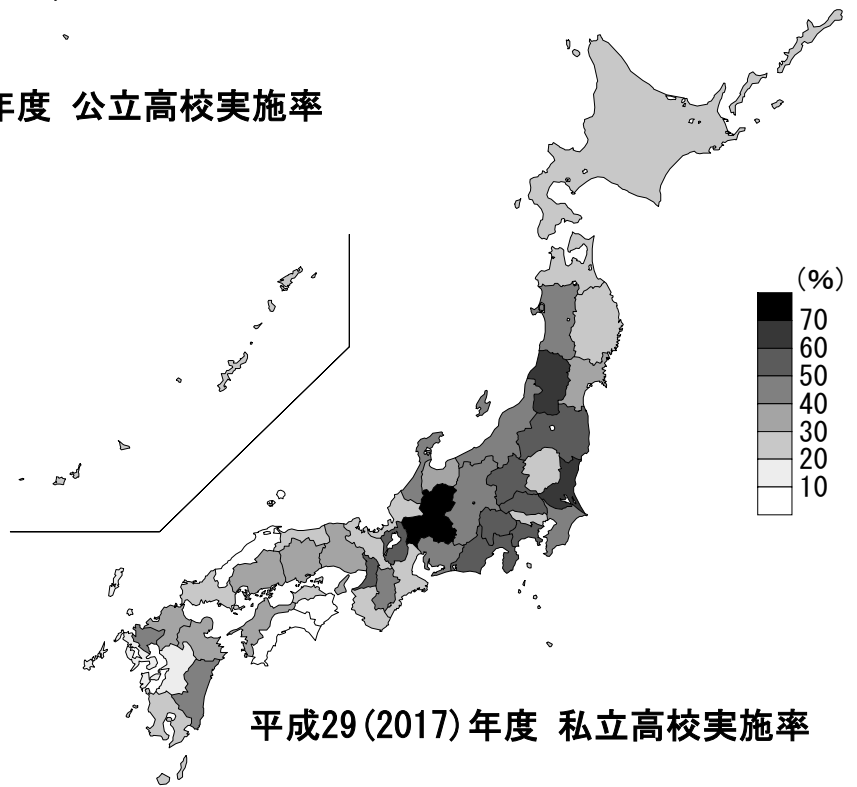
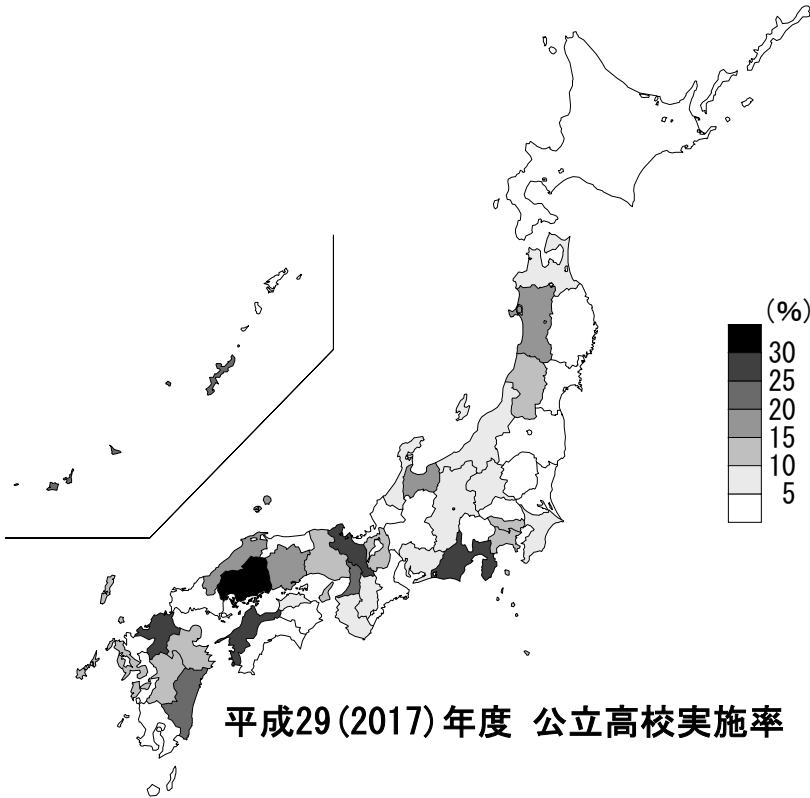
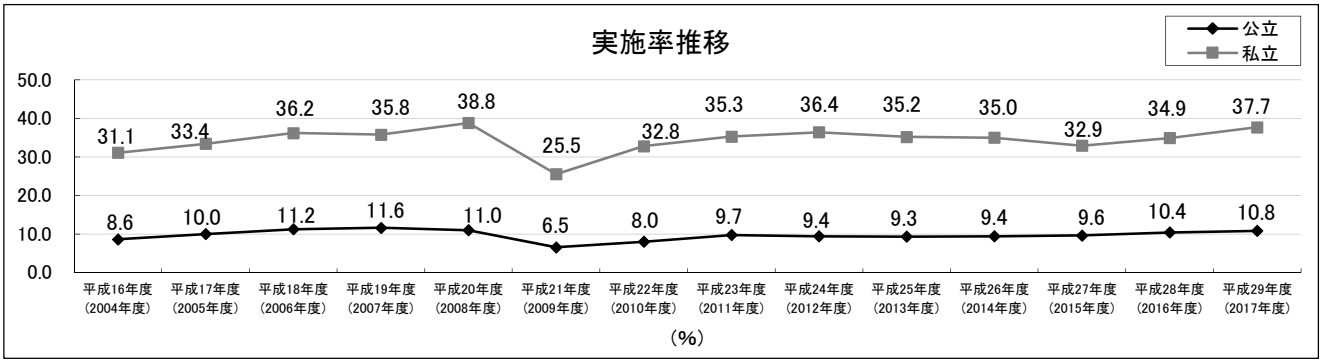
- 実施校数、旅行件数、参加生徒数全てにおいて昨年度を上回った。（53校101件10,469人増）
全国で895校（公立390校、私立505校）が実施し、156,413人（公立67,576人、私立88,837人）の生徒が参加した。公立高校では10.8%、私立高校では37.7%の実施率であった。旅行件数は、1,208件（公立419件、私立789件）にのぼる。
- 公私立共に、海外修学旅行は増加傾向にある。その位置づけは学校により「修学旅行」や「研修旅行」と様々である。実数として、どちらにカウントするかは、報告によって異なるが、国際理解教育という取り組みにおいて重要な行事となっている。
- 旅行先（延べ数）では、38ヶ国・地域に1,289校174,387人が訪問した。
台湾は、5万人を越えた。（325校53,940人）特に、公立高校では海外修学旅行を実施した学校の約半数が、台湾を訪問国として選んでいる。（校数比45.5%、人数比54.0%）
又、今年度、大幅に増加したのがシンガポールで、公私立合わせて42校6,135人増加し、2万5千人を越えた。一方、訪問国の上位として常に安定していたグアムは、北朝鮮のミサイル発射計画公表の影響を大きく受け、激減したと思われる。主要方面である東南アジアは、377校50,418人（公立159校22,659人、私立218校27,759人）と伸びたが、北アメリカは上記の要因により、276校34,308人とどまった。（本土、ハワイ、カナダは増）

① 年度別実施状況

| 区分 | 計 | | | 公立 | | | 私立 | | |
|--------------|------|-------|---------|------|------|--------|------|------|--------|
| | 実施校数 | 旅行件数 | 参加生徒数 | 実施校数 | 旅行件数 | 参加生徒数 | 実施校数 | 旅行件数 | 参加生徒数 |
| 平成27(2015)年度 | 790 | 1,036 | 138,097 | 350 | 379 | 57,760 | 440 | 657 | 80,337 |
| 平成28(2016)年度 | 842 | 1,107 | 145,944 | 375 | 406 | 63,065 | 467 | 701 | 82,879 |
| 平成29(2017)年度 | 895 | 1,208 | 156,413 | 390 | 419 | 67,576 | 505 | 789 | 88,837 |



※グラフは延べ数を基に作成。



② 公私立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

| 国・地域 | 年度 | 平成27(2015)年度 | | | 平成28(2016)年度 | | | 平成29(2017)年度 | | |
|----------|----|--------------|-----|--------|--------------|-----|--------|--------------|-----|--------|
| | | 都道府県数 | 校数 | 人数 | 都道府県数 | 校数 | 人数 | 都道府県数 | 校数 | 人数 |
| 台湾 | | 40 | 224 | 36,356 | 42 | 262 | 41,878 | 43 | 325 | 53,940 |
| シンガポール | | 39 | 147 | 20,792 | 38 | 142 | 19,286 | 40 | 184 | 25,421 |
| オーストラリア | | 33 | 116 | 17,527 | 34 | 127 | 18,254 | 34 | 150 | 21,305 |
| マレーシア | | 32 | 117 | 16,572 | 32 | 100 | 14,864 | 32 | 113 | 15,850 |
| ハワイ | | 29 | 84 | 13,174 | 30 | 78 | 11,435 | 31 | 95 | 13,131 |
| カナダ | | 19 | 31 | 4,732 | 26 | 50 | 6,962 | 25 | 74 | 8,999 |
| アメリカ本土 | | 25 | 54 | 6,778 | 26 | 67 | 8,611 | 27 | 84 | 8,843 |
| ベトナム | | 14 | 25 | 3,698 | 16 | 36 | 5,996 | 19 | 43 | 5,988 |
| ニュージーランド | | 10 | 23 | 3,126 | 12 | 24 | 3,541 | 10 | 25 | 3,652 |
| 中国 | | 18 | 22 | 2,354 | 17 | 28 | 3,398 | 21 | 29 | 3,327 |

②-1 公立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

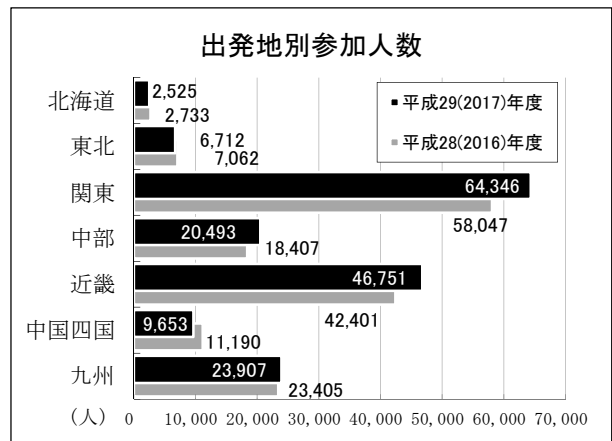
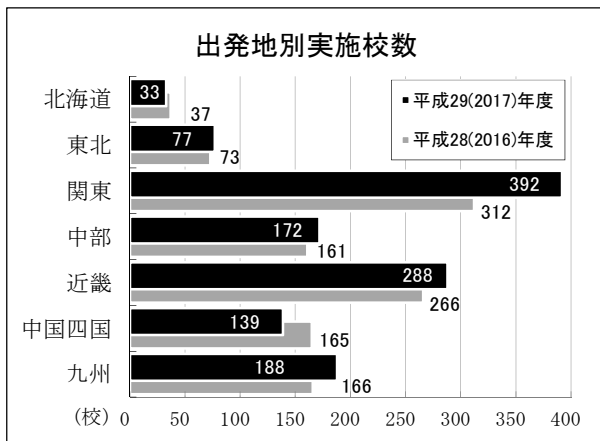
| 国・地域 | 年度 | 平成27(2015)年度 | | | 平成28(2016)年度 | | | 平成29(2017)年度 | | |
|---------|----|--------------|-----|--------|--------------|-----|--------|--------------|-----|--------|
| | | 都道府県数 | 校数 | 人数 | 都道府県数 | 校数 | 人数 | 都道府県数 | 校数 | 人数 |
| 台湾 | | 34 | 145 | 25,784 | 35 | 167 | 30,736 | 37 | 216 | 40,538 |
| シンガポール | | 28 | 60 | 8,522 | 27 | 67 | 8,951 | 28 | 80 | 10,874 |
| マレーシア | | 25 | 57 | 8,534 | 23 | 51 | 7,535 | 23 | 59 | 7,975 |
| ベトナム | | 4 | 9 | 1,974 | 6 | 17 | 3,840 | 7 | 14 | 3,273 |
| ハワイ | | 9 | 18 | 2,590 | 8 | 18 | 2,810 | 9 | 18 | 2,846 |
| オーストラリア | | 13 | 23 | 3,155 | 13 | 20 | 2,233 | 13 | 23 | 2,794 |
| グアム | | 20 | 59 | 9,202 | 21 | 54 | 9,436 | 6 | 10 | 2,171 |
| 中国 | | 5 | 5 | 571 | 5 | 8 | 914 | 7 | 10 | 1,250 |
| カナダ | | 4 | 4 | 454 | 5 | 5 | 542 | 8 | 9 | 876 |
| アメリカ本土 | | 8 | 12 | 642 | 7 | 10 | 603 | 9 | 16 | 814 |

②-2 私立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

| 国・地域 | 年度 | 平成27(2015)年度 | | | 平成28(2016)年度 | | | 平成29(2017)年度 | | |
|----------|----|--------------|----|--------|--------------|-----|--------|--------------|-----|--------|
| | | 都道府県数 | 校数 | 人数 | 都道府県数 | 校数 | 人数 | 都道府県数 | 校数 | 人数 |
| オーストラリア | | 30 | 93 | 14,372 | 29 | 107 | 16,021 | 29 | 127 | 18,511 |
| シンガポール | | 32 | 87 | 12,270 | 31 | 75 | 10,335 | 32 | 104 | 14,547 |
| 台湾 | | 32 | 79 | 10,572 | 35 | 95 | 11,142 | 37 | 109 | 13,402 |
| ハワイ | | 27 | 66 | 10,584 | 28 | 60 | 8,625 | 30 | 77 | 10,285 |
| カナダ | | 17 | 27 | 4,278 | 24 | 45 | 6,420 | 21 | 65 | 8,123 |
| アメリカ本土 | | 22 | 42 | 6,136 | 24 | 57 | 8,008 | 25 | 68 | 8,029 |
| マレーシア | | 26 | 60 | 8,038 | 24 | 49 | 7,329 | 24 | 54 | 7,875 |
| ニュージーランド | | 9 | 21 | 2,776 | 11 | 22 | 3,200 | 9 | 23 | 3,304 |
| ベトナム | | 11 | 16 | 1,724 | 12 | 19 | 2,156 | 16 | 29 | 2,715 |
| 中国 | | 14 | 17 | 1,783 | 14 | 20 | 2,484 | 16 | 19 | 2,077 |

(2) 都道府県別の動向

○ 実施校の出発地別動向は、関東、中部、近畿、九州地方が前年を上回ったが、一部私立高校で昨年は「研修旅行」として報告されていたものも含まれており、実質全体では微増となった。都道府県別では、17都道府県で増、23道府県が減少。公立では21都道府県で増加、16府県で減少。私立では19都道府県で増加、19道府県で減少した。

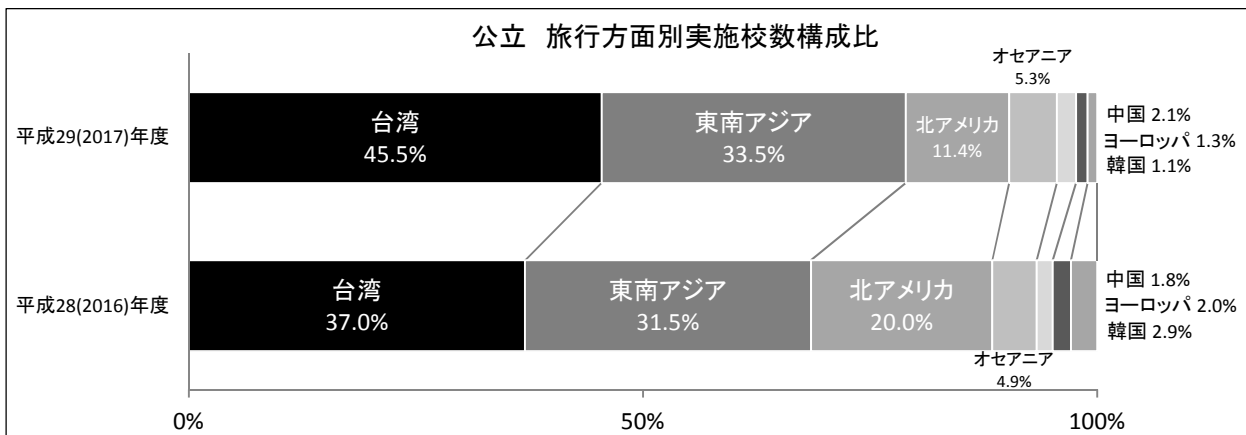
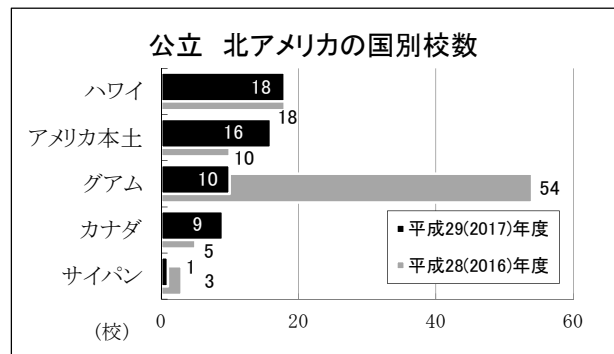
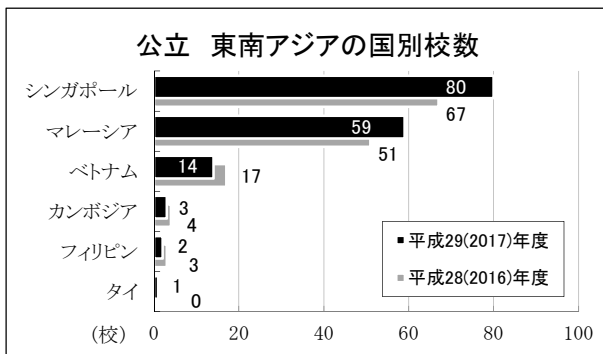
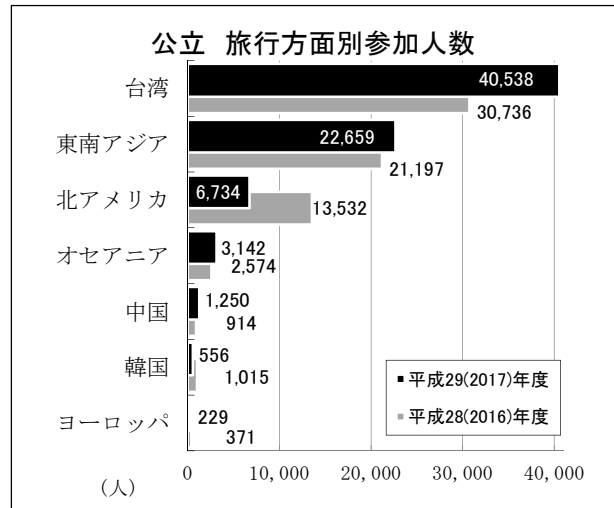
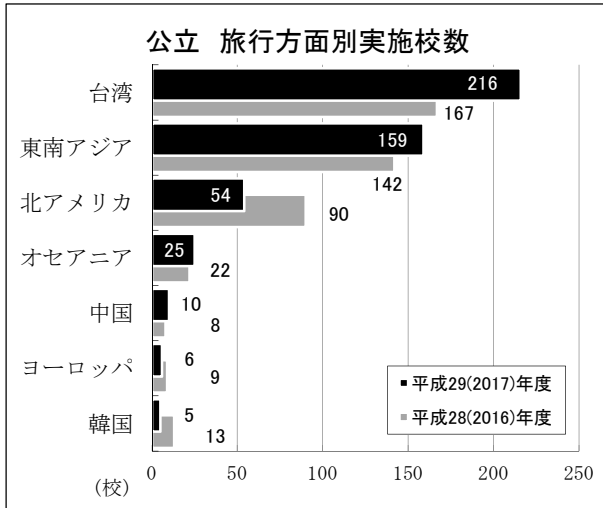


※グラフは延べ数を基に作成。

(3) 公私立別の状況

① 公立高等学校

- 実施校は、390校が実施し67,576人が参加した。旅行実施件数は419件であった。
前年度より、実施校数で15校、旅行実施件数で13件、参加生徒数で4,511人と全てにおいて上回った。
- 旅行先(延べ数)では、22ヶ国・地域に475校 75,108人が訪問した。
台湾の増加は更に進み、216校40,538人まで伸びた。(49校9,802人増) 東南アジアでは、シンガポールが、80校10,874人となり、初めて1万人を越えた。(13校1,923人増)
一方、全国の動向でも記載した通り、グアムへの修学旅行は、多くの地域の学校が旅行方面の見直しを行い、大幅な減少となった。(H28年度：54校9,436人→H29年度：10校2,171人)

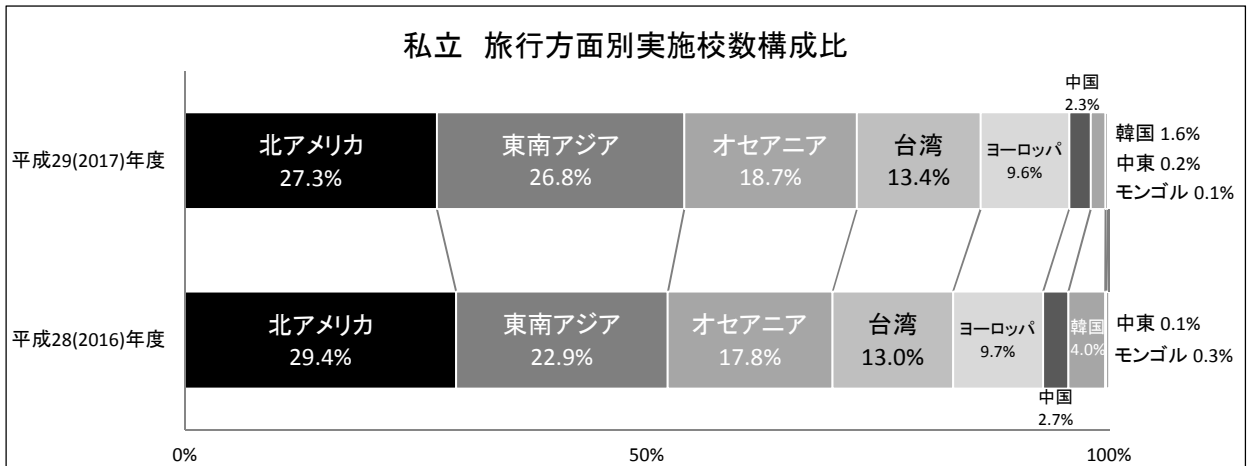
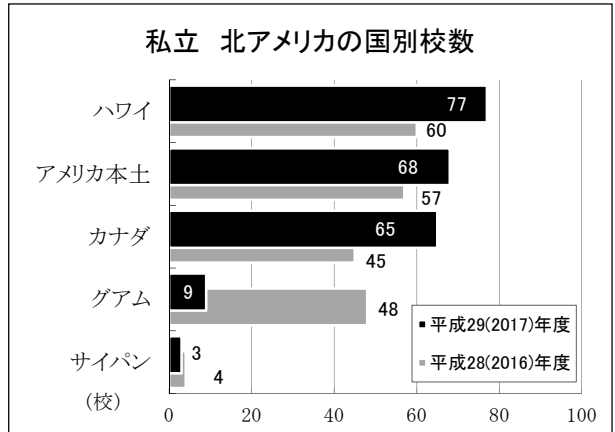
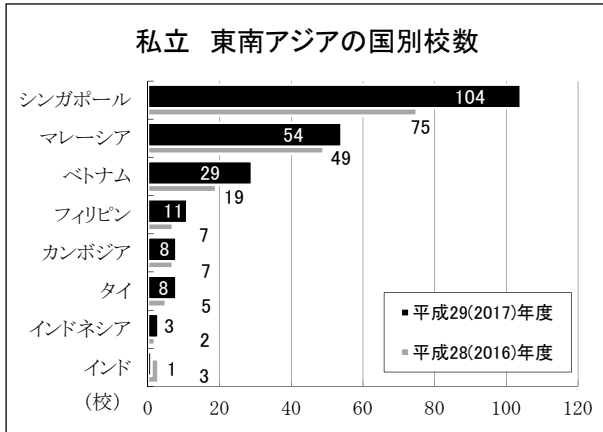
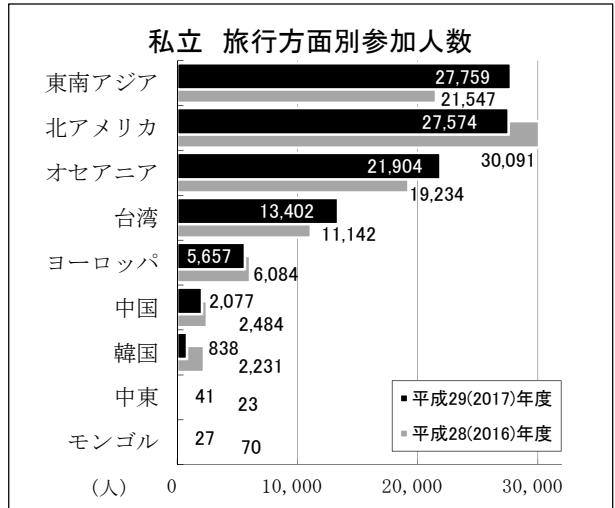
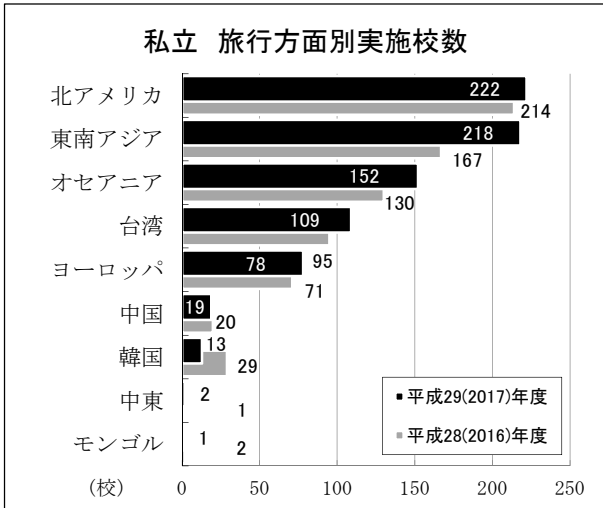


※グラフは延べ数を基に作成。

② 私立高等学校

○ 実施校数は505校88,837人が参加した。旅行実施件数は789件であり、前年度から校数で38校、件数で88件、参加生徒数で5,958人増加したことになるが、一部昨年度「研修旅行」として報告されていたものが、「修学旅行」として含まれていることもあり、実質は10校1,400人ほどの増加と見込まれる。

○ 旅行先(延べ数)では、37ヶ国・地域に814校99,279人が訪問した。
グアムは激減したが、ハワイ、カナダが増加し、北アメリカとしては、公立ほどの減少は見られなかった。昨年度減少した、シンガポールも、104校14,547人と増え、過去最高を記録した。(私立校訪問国第2位) ヨーロッパについては、イギリスを除いて回復傾向にある。



※グラフは延べ数を基に作成。

(4) 公私立中学校の状況（参考）

中学校の海外修学旅行は、私立学校を主としており、公立学校は一部府県での実施が見られる。
参考資料として掲載した。

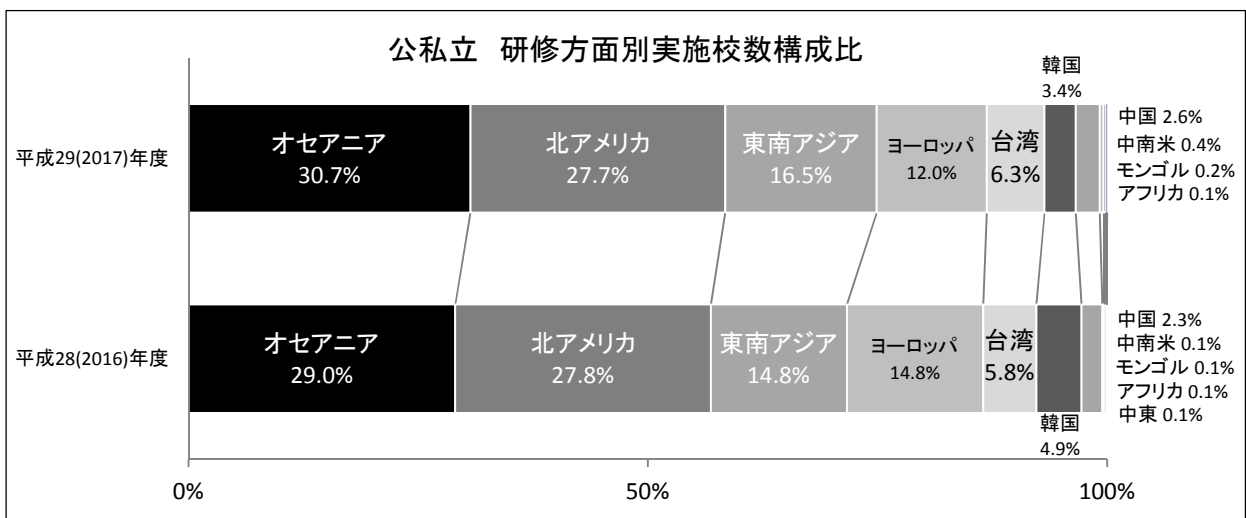
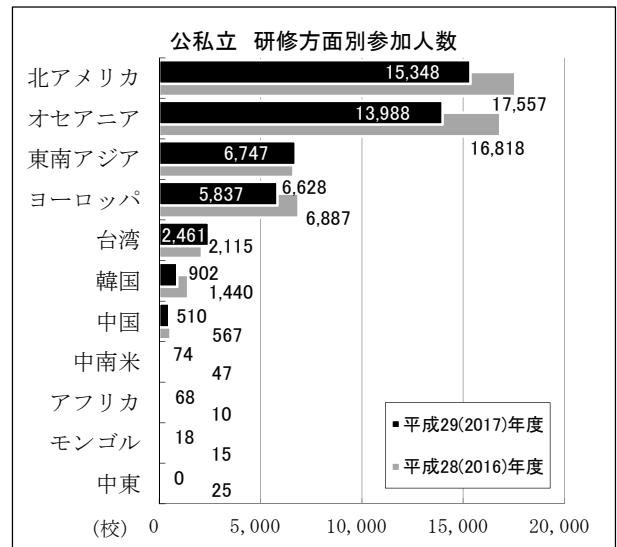
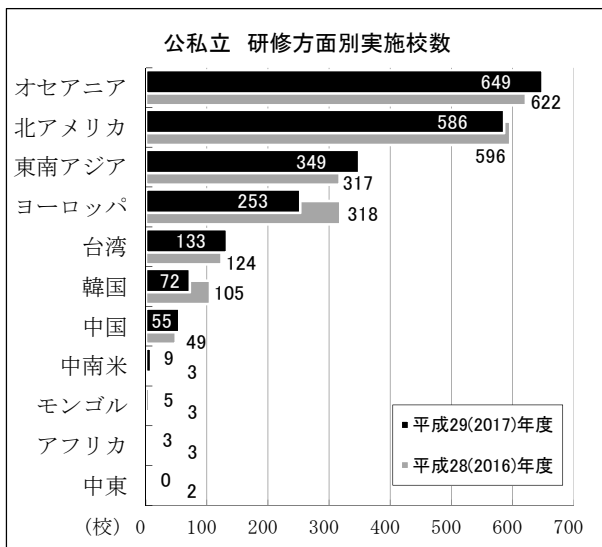
- 172校11,369人(公立17校987人、私立155校10,382人)の実施があった。
- 公立中学校は12府県で実施され、微増。宮城、福島、静岡、沖縄で複数校の実施がみられる。旅行方面は、オーストラリア(6校252人)、台湾(5校186人)が多く、秋(10月、11月)実施が比較的多い。1週間以上の日数で、イギリスやカナダを訪問国としている学校もある。
- 私立中学校は39都道府県で実施され、前年度から、29校1,246人増となった。オセアニア方面(70校5,248人)が最も多く、次いで北アメリカ(56校3,099人)、東南アジア(27校1,280人)の順となっている。実施時期は、3月、7月、10月が多く、旅行日数は「15日間以上」、費用は20万円以上～30万円未満が多い。

2. 平成29（2017）年度 海外研修（修学旅行外）の実施状況

- 実施校は、1,385校(公立775校、私立610校)が実施し、参加生徒数は43,771人(公立18,478人、私立25,293人)であった。件数は2,263件(公立1,074件、私立1,189件)を数える。
- 研修先(延べ数)では、55ヶ国・地域に2,114校45,953人(公立1,039校19,045人、私立1,075校26,908人)が参加した。
前年度から若干の減少が見られた。公立校は校数、件数共に伸びているが、参加生徒数が減少。海外研修に取り組む学校は増加傾向だが、少子化による自然減少はもちろん、参加は希望制が多いため、年によって参加人数の増減がある。私立校の減少は、今年度「修学旅行」として報告されているものが反映されており、実質は前年並みである。
- 研修内容は、ホームステイ・語学研修が1,090校25,324人で実施総数の校数比46.8%、人数比55.1%と前年同様最も多い。SSH（スーパーサイエンスハイスクール）、SGH（スーパーグローバルハイスクール）や、実習、視察など「学科の特性」に関わる比重も高い。

年度別実施状況

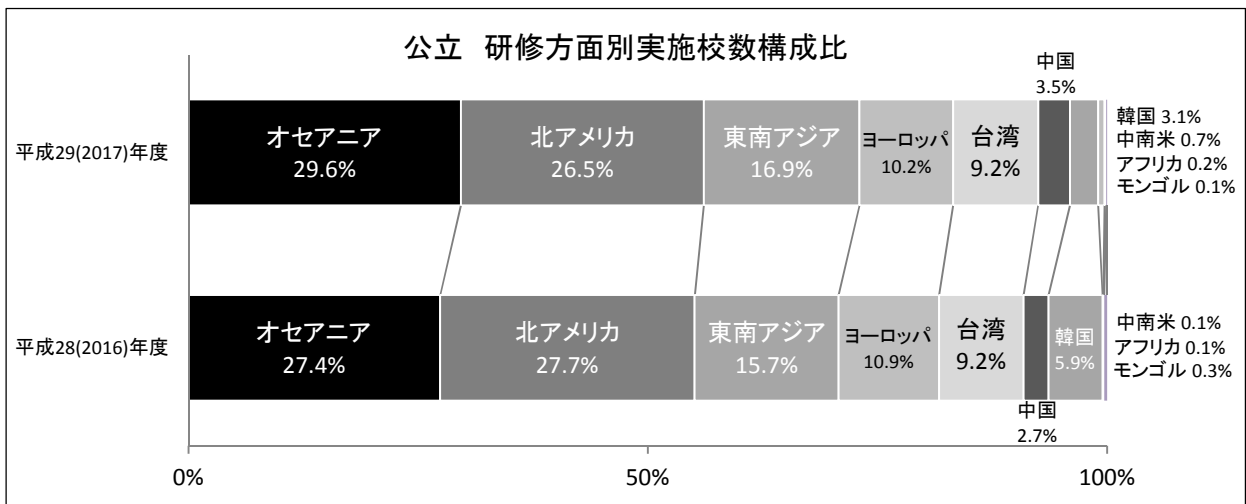
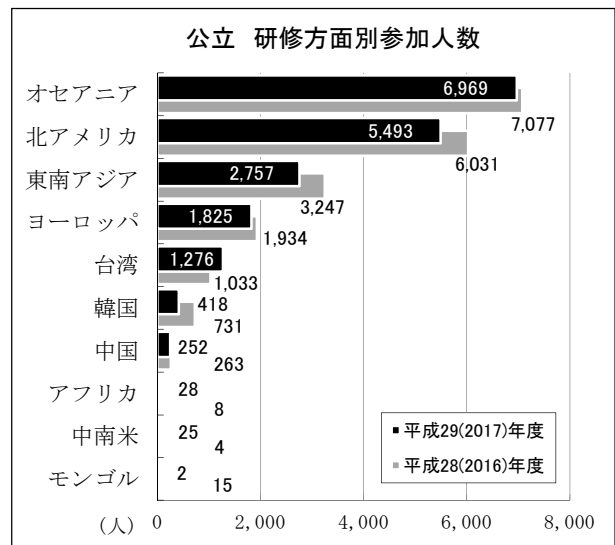
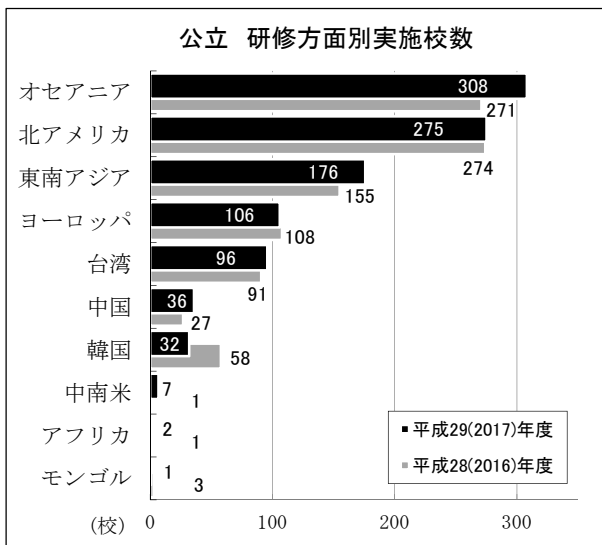
| 区分 | 計 | | | 公立 | | | 私立 | | |
|--------------|-------|-------|--------|------|-------|--------|------|-------|--------|
| | 実施校数 | 研修件数 | 参加生徒数 | 実施校数 | 研修件数 | 参加生徒数 | 実施校数 | 研修件数 | 参加生徒数 |
| 平成27(2015)年度 | 1,192 | 1,821 | 40,506 | 609 | 817 | 16,129 | 583 | 1,004 | 24,377 |
| 平成28(2016)年度 | 1,427 | 2,346 | 49,998 | 756 | 1,024 | 19,361 | 671 | 1,322 | 30,637 |
| 平成29(2017)年度 | 1,385 | 2,263 | 43,771 | 775 | 1,074 | 18,478 | 610 | 1,189 | 25,293 |



※グラフは延べ数を基に作成。

(1) 公立高等学校

- 実施校は、775校(件数は1,074件)が実施し、参加生徒数は18,478人であった。
- 研修先(延べ数)では、43ヶ国・地域に1,039校19,045人が参加した。
 研修方面ではオセアニア(308校6,969人)と、北アメリカ(275校5,493人)で過半数を占めている。主要国は、オーストラリア(259校5,822人)と、アメリカ本土(188校3,860人)であり、台湾(96校1,276人)、カナダ(52校1,208人)、ニュージーランド(49校1,147人)と続く。ヨーロッパへの訪問国は、イギリスとドイツに集中している。
- 研修内容は、ホームステイ・語学研修が383校8,839人(校数比34.7%、人数比46.4%)と最も多い。
 「学校交流」を含めた「国際交流・国際理解」を取り入れている学校は、480校7,272人(校数比43.4%、人数比38.2%)であり、グローバルな人材育成を目的とする、「国際理解教育」への取組みは加速するものと思われる。



※グラフは延べ数を基に作成。

(2) 私立高等学校

○ 実施校は、610校(件数は1,189件)が実施し、参加生徒数は25,293人であった。
 ○ 研修先(延べ数)では、49ヶ国・地域に1,075校26,908人が参加した。
 主要方面の、北アメリカ(311校9,855人)、オセアニア(341校7,019人)は変わらず。又、シンガポール、マレーシアを中心に東南アジアが伸びた。一方、ヨーロッパは、度重なるテロ等の影響もあり、イギリスが大幅に減少し、前年を大きく割った。
 研修内容は、ホームステイ・語学研修が707校16,485人(校数比57.7%、人数比61.3%)と過半数を占める。「留学」を取り入れている学校は、74校625人(校数比6.0%、人数比2.3%)であった。

